

NHK

バレエの

饗宴

2016

4.10 [sun] 15:00
NHKホール

©Kenichi Tomohiro



小林紀子バレエ・シアター
『レ・ランデヴー』

©Shinnosuke Hirai (A.I Co.,Ltd.)



スターダンサーズ・バレエ団
『リラの園』

©Hideaki Tanioka



谷桃子バレエ団
『オセロー』(新作)

©Bill Cooper



平田桃子&セザール・モラレス
(バーミンガム・ロイヤル・バレエ団 プリンシパル)
『くるみ割り人形』から
グラン・パ・ド・ドゥ

©Wiener Staatsballett/Ashley Taylor



橋本清香&木本全優
(ウィーン国立バレエ団 ソリスト)
『モーツァルト・ア・ドゥ』から

指揮: 園田隆一郎

管弦楽: 東京フィルハーモニー交響楽団

主催: **NHK NHKプロモーション**

協賛: Chacott

第5回記念特別企画

マニユエル・ルグリ プロデュース

未来のエトワールたち

『ゼンツァーノの花祭り』から
『ナポリ』から



日時 2016年4月10日(日) 開場14:00 開演15:00 会場 NHKホール

チケット好評発売中!!

入場料(全席指定・税込) S席 12,000円 A席 9,000円 B席 6,000円 C席 3,000円

※就学前のお子様の同伴・入場はご遠慮ください。

ローソンチケット

Lコード 35225

<http://l-tike.com/> [インターネット・携帯受付] ※インターネットのみ座席選択可

0570-084-003 [音声応答電話予約 無休]

0570-000-407 [オペレーター受付 10:00~20:00]

ローソン ミニストップ 店頭販売

チケットぴあ

Pコード 448-528

<http://pia.jp/t/> [インターネット・携帯受付] ※インターネットのみ座席選択可

0570-02-9999 [音声応答電話予約 無休]

チケットぴあ サークルK・サンクス セブン-イレブン 店頭販売

※毎週火・水2:30~5:30はシステムメンテナンスのため受付休止

e+ イープラス

<http://eplus.jp/> [インターネット・携帯受付] ※インターネットのみ座席選択可

ファミリーマート 店頭販売

チャコットでも一部チケットの販売をいたします。 <http://shop.chacott.co.jp/> ※座席選択不可



- 山手線原宿駅から徒歩10分。表参道改札口から出た先に、案内板があります。明治神宮に沿って代々木競技場方向へ進んだ左前方です。
- 渋谷駅から徒歩15分。ハチ公口で降り西武デパート方向へ進み、渋谷モディ前のT字路を左に曲がり、緩い坂道(公園通り)を上りきった突き当たりです。
- バスを利用する場合は、渋谷駅からNHKホールと同じ敷地内にある「NHKスタジオパーク」行き直行便があります。バス乗り場は、渋谷駅ハチ公向かいの「渋谷マークシティ」前、2番乗り場です。
- NHKホールには駐車場はありません。渋谷区役所前公共駐車場(03-5458-8801)をご利用ください。

放送

● 公演のようは、Eテレ「クラシック音楽館」で放送する予定です。

● 「未来のエトワールたち」のオーディションから本番までのようは、ドキュメンタリー番組「夢をかなえるアン・ドゥ・トロワ〜ヘルグリと目指せパレエの饗宴〜(仮)」として放送する予定です。

※放送日時は、決まり次第ホームページ等でお知らせします。

お問い合わせ

0570-063-050 (無休 10:00~18:00) ※ローソンチケット内

● NHKイベント・インフォメーション

<http://www.nhk.or.jp/event/>

● NHKプロモーション ホームページ

<http://www.nhk-p.co.jp/>

※公演中止の場合を除き、チケットのお申込み・ご購入後の変更、キャンセル、払い戻しはできませんので、あらかじめご了承ください。

※やむを得ぬ事情により、出演者、演目、開演時間等に変更が生じる場合がございます。あらかじめご了承ください。

※ネットオークション等での営利目的による転売はお断りします。

一夜限りの夢の舞台へ。

日本を代表するバレエ団やトップダンサーたちが同じ舞台に集結する「NHKバレエの饗宴」。それはたった一夜の華麗にして壮大な祝祭である。そこには心携えて共演し、熱を燃やして競演するダンサーたちがいる。音楽と寄り添い、融合し、響きあいながら、彼ら彼女たちは奥深いドラマの世界や胸高鳴る躍動のかなたに私たちを招き入れるのだ。

戦後、目覚ましい発展を遂げて世界を驚かせた日本のバレエを支えてきたのは、独自の活動を続けてきた各バレエ団である。今回もそのバレエ団にしか上演できない名作が並ぶ。小林紀子バレエ・シアターの『レ・ランデヴー』は社交場での恋人たちの姿を描いた微笑ましくもおしゃれな作品で巨匠フレデリック・アシュトンの作品。スターダンサーズ・バレエ団の『リラの園』は、バレエでこれほどまでに男女間の微妙な関係と心理を描けるのかと演劇界をも驚愕させた名匠アントニー・チューダー作品。伝統ある谷桃子バレエ団が、『オセロー』を日原永美子の振り付けで初演するのも注目である。

パ・ド・ドゥもまた祝祭公演には欠かせない。今回はバーミンガム・ロイヤル・バレエで活躍する平田桃子が日本でもおなじみのセザール・モラレスを相手役に迎えて踊るほか、マニュエル・ルグリが芸術監督を務めるウィーン国立バレエ団のソリスト、橋本清香と木本全優が登場する。

パリ・オペラ座が生んだ最大のスターであり、どんな役でもエレガンスと抜群のバレエテクニック、深い人間洞察に基づいた表現で世界中の舞台ファンを魅了してきたマニュエル・ルグリが、後進の育成に携わっていることはよく知られている。そんな彼が日本の若者をオーディションで選び、指導することが実現した。選ばれた8人の十代のダンサーたちが、その成果をブルノンヴィル作品『ゼンツァーノの花祭り』と『ナポリ』で示すのも大きな見どころとなるのはいうまでもない。

文/林 愛子(舞踊評論家)

小林紀

『レ・ランデ

振付：フレデリック・アシュトン
音楽：ダニエル・オベラ
美術：ウィリアム・マクドナルド
出演：島添亮子、アントニー・ミラノス

19世紀、英国の集まる若いカッパが描かれる。陽せて、19世紀の付や幾何学的：1幕のバレエ。

第5回記念特別企画

マニュエル・ルグリ プロデュース

未来のエトワールたち

『ゼンツァーノの花祭り』から

『ナポリ』から

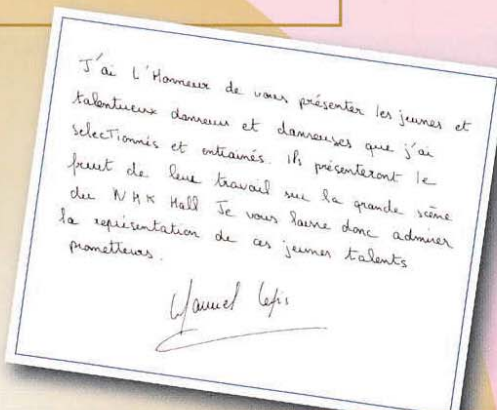
出演：オーディションで選抜された、19歳以下のダンサー8人

(写真左から)吉江絵璃奈、山仁 勇、小川理恵、石井日奈子、山本理久、鳥居ありす、木村楓音、田野井大登



私が選び、指導する無限の可能性を秘めた若いダンサーたちを紹介します。生徒たちのレッスンの成果をNHKホールの大舞台で発表します。若い才能あふれるフレッシュなパフォーマンスにご期待ください。

マニュエル・ルグリ



小林紀子バレエ・シアター

『レ・ランデヴー』

振付：フレデリック・アシュトン

音楽：ダニエル・オーベール

美術：ウィリアム・チャペル

出演：島添亮子、

アントニーノ・ステラ

(ミラノ・スカラ座バレエ団 プリンシパル)ほか

19世紀、英国の社交界を舞台に、明るく美しい公園に集まる若いカップルたちの華やかで心浮き立つ様子が描かれる。陽気なクラシカルダンスの組曲にあわせて、19世紀の社交界の優雅さがアシュトンらしい振付や幾何学的なフロアパターンによって表現される1幕のバレエ。



©Kenichi Tomohiro

●小林紀子バレエ・シアター 1973年創設。小林紀子をはじめ国内外で活躍する数多くの優秀なダンサーを輩出。古典作品から、アシュトンやマクミランの作品など、日本ではなかなか見ることのできないバレエ作品の紹介、普及に貢献してきた。平成20年度文化庁芸術祭大賞受賞。

NHK バレエの 饗宴 2016

4.10 [sun] 14:00 開場
15:00 開演
NHKホール

指揮：園田隆一郎

管弦楽：東京フィルハーモニー交響楽団

les jeunes et
que j'ai
étaient le
grande scène
ne admirer
alents

Momoko Hirata & César Morales "The Nutcracker" Grand Pas de Deux

平田桃子&セザール・モラレス

(バーミンガム・ロイヤル・バレエ団 プリンシパル)

『くるみ割り人形』から グラン・パド・ドゥ

振付：ピーター・ライト、レフ・イワーノフ

音楽：チャイコフスキー



●平田桃子 群馬生まれ。山本禮子バレエ研究所で学び、2001年ローザンヌ国際バレエコンクールでエスポワール賞受賞。その後ロイヤル・バレエ・スクールに入学。03年バーミンガム・ロイヤル・バレエ団に入団、数々の作品で主要な役を踊る。その後、バルセロナ・バレエで活躍。11年にはバーミンガム・ロイヤル・バレエ団にプリンシパルとして再入団した。



●セザール・モラレス チリ生まれ。サンティアゴのムニシパル劇場バレエスクール、ヒューストンバレエアカデミーにて学ぶ。その後サンティアゴ・バレエ、イングリッシュ・ナショナルバレエ団を経て2008年にバーミンガム・ロイヤル・バレエ団に入団。すぐにクラシックバレエダンサーとしての地位を確立し、『白鳥の湖』や『美女と野獣』、『ロミオとジュリエット』等多くの作品をレパートリーに持つ。

スターダンサーズ・バレエ団

『リラの園』

振付：アントニー・チャーダー

音楽：ショーン

出演：渡辺恭子、吉瀬智弘、

山本隆之(ゲスト)、佐藤万里絵 ほか

バイオリン：渡辺玲子

1936年初演。舞台はある女性のお別れパーティー。彼女に待っているのは愛してもいない男との結婚である。パーティーにはその婚約者や、そのかつての愛人、そして女性が本当に愛する若者の姿がある。4人それぞれの思いが交錯する模様が舞踊によって描かれる、アントニー・チャーダーの振付初期の名作。

©Shinnosuke Hirai (A.I Co.,Ltd.)



◎スターダンサーズ・バレエ団 1965年太刀川瑠璃子により創立され、81年に財団法人化、2012年より公益財団法人となる。日本人振付家による新作を発表し続けるとともに、チャーダー、バラシン、マクミラン、ロビンス、フォーサイス、ドゥアトをはじめとする名振付家の作品を上演。

Tani Momoko Ballet “Othello”

谷桃子バレエ団

『オセロー』(新作)

振付：日原永美子

音楽：シュニトケ

原案：シェークスピア

出演：齊藤 拓、永橋あゆみ、三木雄馬、

佐々木和葉、檜山和久 ほか

バイオリン：渡辺玲子、近藤 薫

シェークスピアの悲劇『オセロー』を題材に、オセローやデスデモーナ、イアーゴ、エミリア、キャシオーなど登場人物の細やかな情愛、気高い理念、そして激しい憎悪がダンサーの雄弁な身体を通して語られる。甘言と嘘に飲み込まれた人間の心理に深く迫る日原永美子振付の新作。

©Hideaki Tanioka



◎谷桃子バレエ団 1949年創設。『ドン・キホーテ』『ラ・バヤデル』等の作品を日本初演。創作公演にも積極的に取り組み、20世紀前衛派の巨匠クルベリの代表作『令嬢ジュリー』『ロミオとジュリエット』をいち早く紹介。2010年には『レ・ミゼラブル』で文化庁芸術祭大賞を受賞。

Kiyoka Hashimoto & Masayu Kimoto “Mozart à 2”

橋本清香 & 木本全優

(ウィーン国立バレエ団 ソリスト)

『モーツァルト・ア・ドゥ』から

振付：マランダン

音楽：モーツァルト

◎橋本清香 兵庫生まれ。山口けい子バレエスクール、泉バレエ教室で学ぶ。2001年にカンヌ・ジュヌ・バレエスクールに入学、04年にドレスデン国立歌劇場バレエ団に入団。08年にウィーン国立バレエ団に移籍。10年に準ソリストに、12年に同ソリストに昇進した。



◎木本全優 兵庫生まれ。姫路市の中田バレエシアターにてバレエを始める。2003年にカンヌのロゼラ・ハイタワー・バレエ学校に入学。06年、パリ国立高等音楽舞踊学校卒業後、ドレスデン国立歌劇場バレエに入団。08年にウィーン国立バレエ団に移籍。11年に準ソリストに、13年に同ソリストに昇進した。